広報 肱川

人口と世帯

	昭和40年（3月末）	昭和45年（3月末）	昭和50年（3月末）
人口	2,919人	2,382人	2,091人
男	2,997人	2,370人	2,135人
女	5,916人	4,752人	4,226人
計	1,278世帯	1,192世帯	1,108世帯
世帯数			

転入した人　43人
転出した人　82人（前月比37人減）

広報メモ

○妊婦検診
とき　五月十四日、十三時～十五時
ところ　肱川町公民館

○乳児健康相談
とき　五月二十一日、十三時～十五時
ところ　肱川町公民館
対象、生後二か月～十二か月までの赤ちゃん

（およろこび）4人
共栄　松本　和則ちゃん
藤野原　石河　克彦ちゃん
上鹿野川　岡　正教ちゃん
上森山　新山　勇輝ちゃん

（おくやみ）2人
久保　兵頭ミチエさん84才
中野　和田遊喜江さん77才
（3月末届出分）

明日の観光肱川を考える

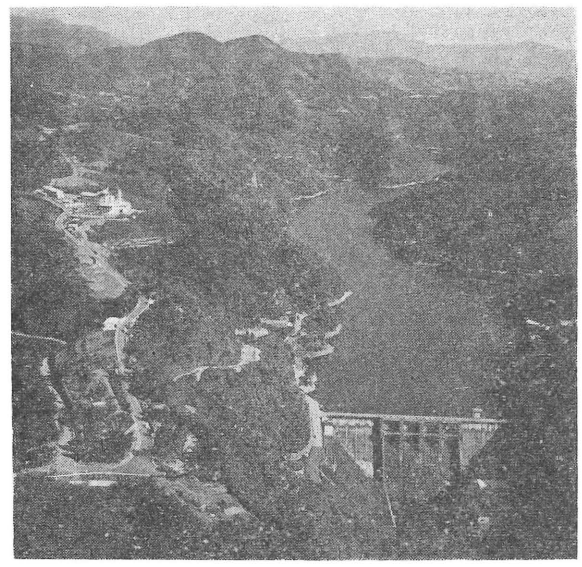
生かそう緑と自然と素朴さと

生活環境が悪い悪いといいながらも「生存欲求と耐久財の所有」がある程度満たされた今では、物より心の豊かさを求める欲求が、最近特に強くなってきました。知らされることが多いわりに、自分で考え、判断し、決定することがなくなりつつあります。

その失われつつあるものを取りもどそうとする考えかたが行動となってめだってきています。こういった物の見かた考えかたの変化を観光の面から見ると――。

都市周辺の観光から、自然と語り合える「ふるさと」型保養観光の必要性が生れつつあります。

名所旧跡を旅行する物見遊山が、移動することが「楽しみの観光」だとすると緑と自然、素朴と静けさを慕い、心のふれ合う豊かさを求める観光は「ふるさと観光」と言えます。



美しい空，うまい空気と水，緑の山々，小魚の躍る清流，秩序ある自然――ふるさとは，自然にしたしむ観光地でにぎわう。ことしも，そして来年も

情緒の価値

今までの観光は、集団で移動し観光社の注文とりによって旅行しガイドという案内によって、「右をごらんください。」「左をごらんください。」式でそのつどカメラを向け、みやげ品にいたるまで推奨され、「おしきせ」型観光の要素が強かったのではないでしょうか。

いまひとつは、交通網の整備により、マイカーによる「走り回り」「通りすがり」型の観光が主流になりかけたこともありました。

こういった観光では、せっかく行動する個人の主体性は生かされず、休養によって明日からの活動や、人間性を回復するための情緒のある価値は望めません。

これからの観光は、自然の風景と親しみ、保養する、運動する、それをおたがいがじかに確かめる、といった志向型が主流になりそうです。

信仰の旅から余暇活動へ

旅行とは、自分の情操を高めたり、自分をなぐさめる心の手段として誰でも考えます。しかし裏返して考えれば、旅の恥はかきすてとばかり、その場かぎりの行儀の悪いふるまいもないとはいえません。

交通の発達していなかった時代は、信仰の旅で、伊勢参り、善光寺参り石鎚神社登山などが主でした。

なかには、物見遊山の旅もあったでしょうが、信仰という共通の目的をもって、なにさま歩いて日数をかけた旅ですから、道中の体験は豊富だったと思います。その人達が村に帰ってきて道中の体験など話すことによって、世の動きを知る大きな情報源にもなっていたようです。

これを現代にあてはめて考えて見ますと、私たちが余暇を見つけて旅行するにも、目的をかけ、旅にしたりと時間をかけてゆっくりむにしてもそれは一種の余暇活動といえましょう。

自然を商品に

三十四年完成したダムをシンボルとして、自然公園に指定され、以後公園の整備や宿泊施設の整備などが行われ、道路の誘致などの表のようなお施設や遊具があります。

ホテルが建ちならぶ大都市周辺の観光地物見遊山型の名所旧跡もなく、私たちの緑と自然、素朴と静けさを売りものにするのが得策です。

まちの観光の条件

ったあとはゴミの山ということになりかねません。それよりも、川をきれいにしたり、花木を植栽したり、まず自分で満足できる環境ができた時、放っておいても観光客は来てくれて環境のよい自然の中で行動する観光地として「自分で確かめ」「行きたくなる」から「人にも伝えたくなる」といった話題に富んだ、ふるさと性豊かな観光地になるのではないでしょうか。

農林の観光

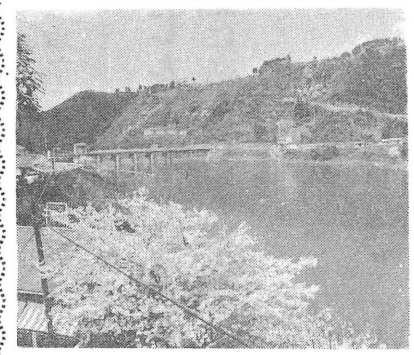
施設も必要なものは、順次整備されなくてはなりません。それもただ、町外の人のための施設というのでなくて、地元の人がまず十分利用できて満足できる施設が必要です。それと肱川では農林業が主体の町ですから農林観光も考えてみるべきです。

本年度から実施される御在所山における森林総合利用施設なども農林観光として余暇活動のりっぱな施設になります。

観光とは、役場や、旅館飲食業者などのかぎられた人のすることだと考えるのはまちがいです。観光栗ひろいなども、農家が生産する栗園へ入園することによって、自然を提供し同時に即売も行って農産物採取の楽しみを味わってもらう「場の提供」型の農業観光といえます。

また、山菜類のほか、椎たけや、山野に生息する昆虫や野鳥、森林などを一定の保護のもとに育てて、観察させたり、採取させるというような林野をレクリエーションの場に提供しようという御在所山などは、林業観光といえそうです。

その他、いも、野菜、茶、淡水魚、など区分して考えてみても、これからの余暇活動に提供する場は、いくらでもありそうです。



春はダム周辺の桜も咲き観光
客の目を楽しませてくれる

条件をいかして

週休二日制が生活の中に定着しそうな中で観光という余暇活動は、ますます活発になってきそうです。町ではまだまだ、自然が残されていて絶好の保養地となっていますが、にしたり、花木を植栽したり、まず自分で満足できる環境ができた時、放っておいても観光客は来てくれて環境のよい自然の中で行動する観光地として「自分で確かめ」「行きたくなる」から「人にも伝えたくなる」といった話題に富んだ、ふるさと性豊かな観光地になるのではないでしょうか。

宣伝は小さい輪から

施設が整って、環境がよいとなると、もちろん、宣伝は重要になります。しかしこれも方法が大切です。ただマスコミの利用ばかりしていたのでは、行儀の悪い客ばかりということにもなりかねません。客の方で観光地を選ぶように、受入れ準備も、客を選ぶぐらいの自信をもつべきです。

行儀の悪い客が大勢きてくれるよりも、少数でも質のよい客が再びきてくれるほうが、良いわけだし、親せき、知人、としだいに輪を広げてゆくクチコミによる宣伝の方が、かえって質のよい客を呼ぶことができそうです。

新幹線の博多延長、それにともなうフェリーの増便、南予レクリエーション構想の実現、国道一九七号線の整備などを考え合せてみますと、観光客の数は、増加すると思われます。

都会を脱出して、緑を、土を、自然を生活のなかにとりもどそうという機運のたかまりは、都市の人たちだけとはかぎりません。恵まれた、自然の条件をだいじに守るとともに、地元もこれをじょうずに生かして余暇活動に利用するといった考えかたも、町における観光の条件といえそうです。

表1　観光施設や遊具

区分	内容
公園	鹿野川園地，丸山公園 鹿野川湖，小藪渓谷，猿ケ岳城跡
駐車場	500㎡（鹿野川園地無料）
休けい所	1（40㎡）
公衆便所	8（公園関係分）
展望台	2
ベンチ遊見	9
観光船	1（定員53人）
ワンボート	5
釣ボート	30
釣渡し舟，および曳舟	3

表2　宿泊施設

区分	施設数	収容人員
一般旅館	6	440人
民宿	1	28
簡易宿泊	1	10
計	8	478

標準小作料きまる

3月の定例農業委員会で標準小作料が次のとおり改訂されました。

※上田　24,000円　（今まで17,000円）
※中田　17,000円　（〃　13,000円）
※下田　10,000円　（〃　9,000円）

畑については作目により，異なりますので決めておりません。　おたずねは農業委員会まで。

お知らせ

○不用犬、野犬の回収日
毎月第二火曜日です。午前十時までに引出してください。
買上料は一頭五〇〇円です。印鑑をご持参下さい。
五月の野犬回収日は五月十三日午前十時までに役場まで引出して下さい。
（生活福祉課）

○交通事故相談所の開設
※常設相談
場所　愛媛県庁本館二階
相談日　日曜、祝祭日を除く毎日
受付　午前九時から午後四時まで
※定期相談
場所　大洲市役所
相談日　毎月十日と二十日、ただし、土曜、祝祭日の場合その翌日
受付　午前十時から午後三時まで（町民課）

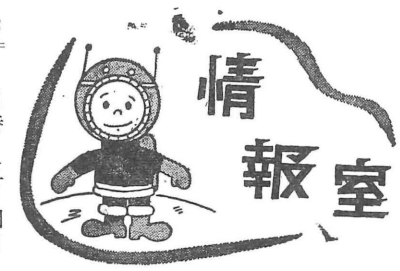
○消毒薬品の申込み
毎年実施している害虫等駆除薬品を今年も次によって注文を受けつけます。
婦人会等が購入される場合も必ず部落長を通じて申込んで下さい。
取扱い品および価格は次の予定で防臭剤を除きそれぞれ半額の町補助があります。

乳剤（一八リットル缶）八〇〇円
〃（六リットル缶）一一二円
油剤（一八リットル缶）三〇〇円
粉剤（五〇〇グラム入）七五〇円
防臭剤（一箱三ケ月分）一七〇円
（生活福祉課）五〇〇円

○ゴールデンウイークの交通事故防止運動
行楽シーズンには、連日数万人の観光、行楽客が私たちの町にも訪れます。
また、連休を利用して、家族そろって出かける方も多いことでしょう。
例年交通事故が多発しているこの時期をとらえて、四月二十九日から五月五日まで県下一斉に、交通事故の防止を呼びかけています。うかれる心に「キイ」をしっかりかけましょう。
（交通安全協会）

こどもの心を豊かに（「大切に」運動五月の目標）

道路を美しく（「大切に」運動五月の目標）



救急体制を強化
―四月一日から―

救急業務は一昨年の八月に患者輸送車を廃止して、もっぱら事故や急患者のための緊急用として開始しました。

この間、出動回数は七十八回、月平均四回あまりの勘定です。

今まで救急隊員は宿直者のうち一人と、順番で役場近辺の職員一人が自宅待機で当って来ましたが、今後は運転者が泊り込み、また日曜、祝日も常に待機して救急に備えることとしました。

救急車の出動は原則としてあくまで一刻を争う緊急のためのものです。出動を要請する場合は、事故や病状を正確に伝えて下さい。病状を過大に表現したり安易な出動要請をすることは、本来の業務を混乱させることになりますのでご協力をお願いします。

（生活福祉課）

へらぶな釣大会

日時　五月四日
場所　鹿野川湖
申込〆切　四月三十日

申し込みおよびくわしい大会要領等は、役場商工観光室（電話一六六番へ）へおとい合せ下さい。

親子のど自慢出場者募集

日時　五月五日午後一時から。
場所　鹿野川園地（雨のとき公民館）
申込〆切　四月三十日
申込先、学校または公民館部落主事

申込書は、学校や部落主事のところへ。名前と年令曲目を書いて申し込んで下さい。

（商工観光室）

犬はこんなにも恐ろしい！

犬はトキソプラズマという病原菌をもっていて私たち人間にまで感染させます。特に女の人に感染した場合流産や奇形児の発生につながることがあります。

また、犬が、狂犬病の菌をもっている場合、これにかまれると狂犬病になり、この病気をなおすための注射液がつよいため子供の場合その注射液に体がまいるほどです。

犬が子供を襲って死亡させたり、ケガをする例も多くなっています。その他犬は畑を荒したり、ほえたり飼い主にわからない迷惑が多いものです。

犬は登録を受け、予防注射を受けて、必ずつないで飼うことを絶対に守って下さい。

町では、各部落に畜犬指導員を設置し、飼い方の指導や野犬の通報その他の仕事をしていただいております。新しい畜犬指導員は次の人です。

中野孝広	下鹿野川 川本善男
東政満	上鹿野川 白尾繁夫
土居哲雄	宮ノ迫 磯貝長信
上甲勝	菅ノ越 菅水宗幸
① 城戸一馬 ② 石川忠男	月ノ尾 柴田熊義
池田岩見	下敷水 高見重正
福山義	敷水 森本恒男
立花源太郎	上敷水 菅水直次
沖野嘉定	下嵯峨谷 ① 大見宗俊 ② 渡辺弘務
滝野嘉儀	上嵯峨谷 竹森公平
赤松利時	苑野尾 福島春夫
原田武	梅の木瀬 中川産四郎
小池忠	柳 東嘉穂
今宮雅司	郷 長頭幸徳
丸川吾高	市之畝 松本時衛
岡甲文三郎	瓜生谷 浜田洋一
長頭	町 上甲善枝
大堀泰幸	藤之原 清水公健
長頭芳一	小倉 今井福太郎
栄田喜太郎	中津 井上房吉
松本重男	

（生活福祉課）

部落自慢ばなし

小倉　滝野寿満

肱川町の中心より十二Kmはなれた小倉部落は戸数わずか六戸でほとんどはじめ、今はほとんど各家につき四十四年度には水道施設も完備、また一昨年は待望の道路も完成し、各家に自家用車が入れるようになりました。自慢はなんと言っても仲の良いことです。年に一回は、部落全員が貸切りバスで慰安旅行に行きます。

昭和三十五年に農村公衆電話ができたのをはじめ、今は兼業農家で栗とシイタケを作っております。

仲の良いのが何より自慢

るす番は親せきの人をやとっておきます。部落構成は部落長と会計は兼務その他いろいろの役は全員がなにかの役についています。

朝夕は奥さん方は花だんの世話をします。昨年は町内花だんコンクールに参加、それぞれの賞をもらい、中には最優秀賞を受賞した人もおります。これも自慢の一つ。

部落集会所はないので常会は部落長宅で行うのですが、家族的に行うのでいつまでも話がつづき夜十二時位になるのはしばしばです。今年は防犯灯それにテレビの共同受信施設もできる計画になっております。これが完成すればますます明るい住みよい部落になります。

淋しいことは今年四月高校入学した子供を最後に子供が一人もいないことです。だけど後継者も決りつつあるので赤ちゃんの声をきくのも間近いことと思います。

町税全部落の完納なる

町では、昭和二十八年に町税の納税奨励規則をつくり、部落長をはじめ町民のみなさんに納税の呼びかけをしてきました。

二年目で全部落の完納を達成することができました。

私たちの町は、一割自治にも満たない財政の成績は、町税の納税勢のバロメーターであり、これを機会に、こぞって、完納成績を持続されますようお願いいたします。

丸山公園、鹿野川園地はつつじの名所として有名です。

霧島、平戸、久留米、五月、オンツツジなどが咲きみだれ実にみごとな眺めです。見頃は、四月二十九日頃から、五月十日頃までです。その期間中には次の行事を行いますのでご近所おさそい合せておでかけ下さい。

（商工観光室）

おそろいでつつじ祭へ

行事名	開催日時	場所
県下川柳大会	4月29日　10時～16時	公民館
おかぐら	5月3日　13時～15時	鹿野川園地
野だて茶会	〃　10時～15時	丸山公園
へら鮒釣大会	5月4日　5時～14時	鹿野川湖
親子のどじまん	5月5日　13時～15時	鹿野川園地
植木市	4月29日～5月10日	丸山公園，鹿野川園地

じなさせない「路上とびだし」
―春の交通安全運動―

昨年中の交通事故は、全国的にも、県下でも減少してきましたが、肱川町では逆に増えています。

こどもやおとしよりを交通事故から守ることを重点に五月十二日から五月二十一日まで全国一斉に「春の交通安全運動」が実施されます。

まちには、新入児童があふれています。とくに、今年新しく保育所へ入所した幼児は、車のこわさを知りません。

運転者は、「愛の徐行」を励行し、家庭では、こどもやおとしよりのための交通安全教育を日常生活の中で実施して、こどもとおとしよりを交通事故から守りましょう。

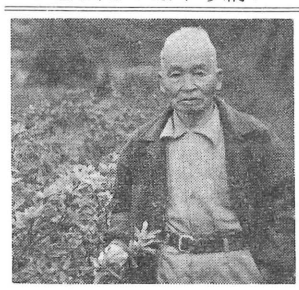
大洲署管内の交通事故

市町村別	年別	発生	死者	傷者
		件	人	人
大洲市	49年	167	7	219
	48	195	5	262
長浜町	49	26	0	35
	48	42	4	54
肱川町	49	12	1	13
	48	4	0	6
河辺村	49	3	0	4
	48	1	0	0
計	49	208	8	271
	48	242	10	322
	増減	% −14.0	% −20.0	% −15.8

（49年中の肱川における発生件数は，前年の3倍に増えています。）

インタビュー
つつじを育てて六十年
自然に逆らわない環境づくりで成功

丸山公園園主
冨永廣さん
（78才）



山つつじの中に小路をつけたら，近所のおとしよりがあつまって酒を飲んでいた印象がよかった――と語る冨永廣さん

十六才のとき、母親を亡くされた廣（ひろむ）さんは、長男であるため百姓を継がねばならなかった。

今も昔も変りなく「百姓をするのなら、食える百姓をやらんといけんと思うて……」養蚕、柿、栗といろいろ研究しているうち、限られた労働力で収入を得るため、栗を始めるとともに土地を買い林業をとりいれた。

そして、「ここで生活するのなら、自然に逆らわない環境づくりをしようと考えましてなあ」。

今、当町では「生活環境をよくする町民運動」（愛称「大切に」運動）を進めているが、冨永さんは、すでに六十年前から、環境づくりに手がけられているわけである。

廣さんの心を動かしたものはもう一つある。

あるとき、山つつじの中（現在の公園）へ小路をつけたところ、近所のおとしよりが集って酒を飲んでおられ、大変喜ばれた。

「これ程喜んでもらうんならやらないけんと思うて……。今度は、青年にも遊んでもらうところもつくってやろうと考えて……。」

「父も花が好きでしたけんなあ。」と公園づくりを始めた。

「私は、もの好きじゃけんやれますのよ」と言う廣さんは、病害虫や雪の被害などからつつじを守る研究を重ねながら、桜からつつじのシーズンをつなぐ花として、天然のシャクナゲに花を咲かせることに成功し、今も、花の色や開花の時期などを考えて、いろいろな花木の植込みに余念がない。しかし、廣さんにとって代々この公園を保護しつづけられるかどうかという悩みはあるようである。

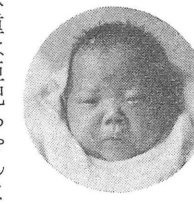
「つつじを管理するには、経済的にも、労力的にも条件がそろわんと無理ですけんなあ」。

そのためか各方面からの表彰などは固く辞退されている。

現在、三〇〇の丸山公園は、手入れのゆきとどいた樹令六十年のつつじなど十数種、約一万本のつつじや約二千本のシャクナゲなど、植物園の別名どうり花と緑におおわれている。

やがてシーズンになると連日数万人の観光客が訪れるであろう。（中野委員）

こんにちは赤ちゃん



大和　東亜紀ちゃん
（生後2か月）

東亜紀ちゃん、生後二か月、大和、東征紀さん長女、妊娠九か月で出生（体重一、五〇〇㌘）

亜紀ちゃんは双生児で六分後に妹が生れました（体重一、三〇〇）。

体重は亜紀ちゃんよりはるかに大きかったのですが肝臓腫張でまもなく亡くなられました。

長男の英紀君は一度に二人の妹ができるところをほんとに残念でしたね。

お母さんも今度の妊娠は前回とはからだの調子がどうも違うように感じ、双生児とわかったのは妊娠九か月に入ってからでした。

一月二十日夜陣痛らしい痛みがあり、病院へ行く途中も双児で早産でもとても二人とも元気な子供は産めないだろうと感じていたそうです。

二十八日「赤ちゃんはいよいよ出産」「赤ちゃんは元気ですか。」

「責任はもてませんよ。」といわれすぐ保育器に入れられ、生後四日めに始めて亜紀ちゃんを見たため時は、あまりにも小さいので、おどろき、またこの子供を一人前に育てることが不安でいっぱいだったそうです。

人間に育てるこのだろうかと不安でいっぱいだったそうです。

赤ちゃんは退院しましたが、家にお母さんをおいてお母さんは、「責任はもてませんよ。」といわれすぐ保育器に入れられ、生後四日めに始めて亜紀ちゃんを見たため時は、あまりにも小さいので、おどろき、またこの子供を一人前に育てることが不安でいっぱいだったそうです。

家に帰ってからは、オチチのほしい時、オムツがぬれた時以外は何時も良く健全なお子さいます。あせらず、ほかのものにおこさないよう十分注意して育ててな下さい。

亜紀ちゃんは小さいながらも順調に育ち（保育器三十八日目で退院）、生後四十六日目で体重二、五〇〇㌘で退院されました。

ミルクも普通量のめるようになり、体重も三、五〇〇㌘になり、退院後一日平均体重増加四〇㌘で発育良好です。

ホッペもおしりもまるみをおびてきました。

今ちょうど標準体重で生後二十日目の体格です。

「ねる子は肥る」とか、「全てのお子さいます。あせらず、ほかのものにおこさないよう十分注意して育ててな下さい。」

びいても電話のベルがなるたびに病院から何かと何時ものおそらせではないかと何時もおそれるそうです。

亜紀ちゃんは小さいながらも順調に育ち（保育器三十八日目で退院）、生後四十六日目で体重二、五〇〇㌘で退院されました。

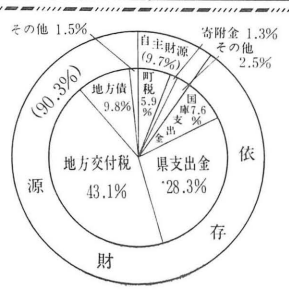
亜紀ちゃんは双生児で六分後に妹が生れました（体重一、三〇〇）。

体重は亜紀ちゃんよりはるかに大きかったのですが肝臓腫張でまもなく亡くなられました。

長男の英紀君は一度に二人の妹ができるところをほんとに残念でしたね。

お母さんも今度の妊娠は

グラフにみる50年度予算



自主財源と依存財源

自主財源とは、町が自らの手で徴収し、町民の皆さんから出るお金です主なものに、町税、負担金、寄付金、使用料などがあり、九・七%になります。一方、依存財源は、国や県の支出金および国からの借金（地方債）などで九〇・三%をしめています。主なものは国県支出金、地方交付税、町債などです。

このグラフは、九〇・三%を国や県からの補助金や交付金にたよっていることを示し、町の台所が国や県の影響を受けなければ確保できないことを物語っています。

鯉のぼりの感電事故を防ごう

お子様の元気な成長をねがってたてる「こいのぼり」の季節が近づきました。ところで、鯉のぼりのサオが電線にさわったり倒れかかって感電事故を起すことがあります。鯉のぼりをおたてになるときは、次のことにご注意ください。

◎鯉のぼりのサオは鉄パイプなど金属製のものより、よく乾いた竹・木などのものを選び、鯉のぼりや吹き流しが電線に巻きついたりしないよう、電線からなるべく離れたところへたてるようにしましょう。

◎鯉のぼりをたてる場所付近に電線があるときは、もよりの四国電力営業所（店）へご相談ください。

◎もし、鯉のぼり、吹き流しなどが電線に巻きついたり、サオが電線に倒れかかったときは危険なため絶対に手を触れないよう、すぐにもよりの四国電力営業所（店）へ連絡してください。